第3回黒部市都市計画マスタープラン及び黒部市立地適正化計画検討委員会（令和６年7月 16 日開催）
発言概要

１ 都市計画マスタープランの見直し（地域別構想）について

区分	質問・意見	回答・対応等
質問 （松下委員）	「適切な土地利用」という表現が頻繁に出てくるが、何か基準のようなものはあるか。	対応 「中心市街地で懸念される空洞化やにぎわい低下等の影響を考慮しながら、必要な都市機能の誘導に努める」等の表現に修正した。
意見 （髙柳委員長）	説明資料 P4 の「（2）地域の問題点・課題」の「１）土地利用」で、「一方、・・・今後の開発動向を踏まえた柔軟な対応が必要」とある。 特に市街地に近い部分に関しては、柔軟な対応をあまりしない方がいいのではないか。表現については、少し考えていただけたらと思う。	対応 「開発動向を踏まえ、中心市街地で懸念される空洞化やにぎわい低下等の影響を考慮し、制限を含む対応を検討していく」という表現に修正した
意見 （平野委員）	説明資料 P3、“海岸部”は、道路が狭くて車が入れないような状況が続いていることが大きな問題である。例えば雪が降ると出られない。“海岸部”については、地区の在り方を考え直す必要があるのではないか。交通の便が悪く、車が入れないと若い人は住まない。	対応 地区の住環境整備の具体化に向けては、地区住民の意向等が重要であり、今後も勉強会・意見交換等を重ねながら、検討を深めていく必要があるため、地区住民のさらなる参画の促進や住環境整備に向けた機運醸成について追記した。
意見 （鹿熊代理）	生地地区で実施されている住環境整備の検討に向けた勉強会は、今後も継続的に行っていってほしい。	
意見 （長田委員）	説明資料P3、あいの風とやま鉄道黒部駅と電鉄石田駅などの鉄道駅や、道の駅 KOKO くろべ、海浜レクリエーション施設などを結び、回遊性を持たせるということも記載していただくとよいと思う。	対応 “海浜レクリエーション拠点の形成”に、ご意見の施設との回遊性向上に関する内容を追記した。

区分	質問・意見	回答・対応等
意見 （前田委員）	“海岸部”に限ったことではないが、若年層、特に若い女性の流出は、就業の選択肢がないことが大きな要因となっていると思われる。 商業・福祉の充実も重要であるが、これだけでは流出を抑えることは難しいと考える。	対応 市全体に関わる内容のため、全体構想の“土地利用の方針”において、「若い世代の流出抑制・UIJ ターンに寄与する土地利用の促進に向けた柔軟な対応」を追記した。
	空き家・空き地に対する取組が進められているが、例えば金融機関や工務店等へのサポート・支援をするなど、利活用が更に促進されるような取組・表現を盛り込めるとよいと思う。	対応 P3、立地適正化計画における居住誘導区域と同等の取組を推進していくこととし、立地適正化計画の誘導施策の内容を充足した。
意見 （鹿熊代理）	説明資料 P3 及び P7、長期未着手となっている都市計画道路について、「必要に応じて見直しを検討」としているが、例えば昭和 40 年代に決定された都市計画道路で、これまで未着手であっても必要なければ見直さないということにも受け取れるため、表現を修正した方がいい。	対応 「必要に応じて」を削除し、「必要性や実現性等を踏まえながら」に修正した。
意見 （橋本委員）	説明資料 P8、“新幹線駅周辺”の土地利用の整理で「開発圧力」という表現があるが、「圧力」という表現は、適切でないように思う。 また、市の構想というか、未来図が見えてこない。業者任せに感じる。開発したい人は来てくれ。でも規制は厳しい。圧力には負けないというふうに捉えられてもおかしくないと思う。	対応 「開発圧力」の表現については、「開発需要」に修正した。 また、中心市街地の賑わい・活性化と逆行するような開発は抑制したい考えであるが、一切を否定するものではなく、民間事業者から進出等の計画が出てきた場合は、都度適切に対応していく。
	全体的に横文字・専門用語が多く、分かりにくく感じる。	対応 用語の説明書きの注釈を追加した。